

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 25 年 10 月 23 日（水）18：00～19：21
開催場所	コア鳥取（研修室兼学習室）
参加人数	17 人
出席議員	<p>黒木 満議長</p> <p>月田光明副議長 ～質疑応答・意見交換進行役</p> <p>高橋一彦議員（議会運営委員会）</p> <p>金安潤子議員（総務文教常任副委員長）</p> <p>草島守之議員（総務文教常任委員）</p> <p>畑中優周議員（経済建設常任委員長）</p> <p>酒巻勝美議員（経済建設常任委員）</p> <p>大澤恵介議員（経済建設常任委員）</p> <p>秋田慎一議員（民生福祉常任委員長）</p> <p>山口光信議員（民生福祉常任委員）</p> <p>土岐政人議員（石炭対策特別委員長）</p> <p>松橋尚文議員（広報特別委員長）</p>
質疑応答の内容	<p>問：北大通が寂しくなっているが、その原因についてどう考えているか聞きたい。</p> <p>畑中：個人的な意見になるが、近年大型商業施設が郊外に建てられ、そちらに人の流れが向かっているのが現状となっており、商売される方が北大通に根をつけてくれるとありがたいが、それも難しい状況にあると認識している。今後も何らかの方法で北大通の活性化に向けて取り組んでいく必要があると考えている。</p> <p>酒巻：釧路市では現在、新しい中心市街地活性化基本計画の検討をしているところだが、防災の観点も踏まえながら、行政だけでなく民間も一緒になって、中心市街地の 20 年、30 年先を考えた計画を、議会で議論していきたい。</p> <p>大澤：明るい話題もあり、大型客船が耐震岸壁に入港することで、乗客が中心市街地で買い物をしていく事例が増えてきている。また、テナント料が安くなってきているため、新たに起業した</p>

いという声も聞いている。

問：釧路に若い人が定着しないことについて、どう考えているか。

金安：一つには、働く場所がないということがある。学力の伴わない子どもは地元企業が雇わず、逆に学力が高い子どもは市外へ流れ出ていくという状況があるため、地元で力を発揮できる人材を育成することが重要と考える。

畑中：仕事はあるのに、選んでいる傾向もあるのだと思う。また、働いても辛いといってすぐ辞めてしまう。市では子供たちを対象に職場体験事業を行っているが、大人が子供に対して働くことの意義を教える機会が必要だと思う。

秋田：自分に合う仕事がないという若年層がいる。そうした若い人たちの多様性を受け入れる地場産業がないということもあるが、大人が様々な業態の中で、働くことの大切さを教えていくべき。

問：西港の今後の整備と活用の見通しは怎么样了のか。

畑中：釧路港は国際バルク戦略港湾として選定を受けたが、今年度は国からの大きな予算はつかなかったため、予算獲得に向けた活動を行っている。付随して、荷揚げした荷物を港湾から市外へ運ぶための道路整備が進んでいる。西港の港湾環境を整備することで釧路市の経済が上向きになるので、早めに荷物の受入体制を整えていきたい。

問：西港第5埠頭の建設計画はあるのか。

畑中：第5埠頭の計画はないが、現在、新西防波堤の整備を行っている。

問：市の説明会（釧路市津波避難計画等住民説明会）で、災害時はFMくしろを聞いて、自助・共助に努めてほしいという話があった。先日の台風18号の時もFMくしろやフェイスブックの情報が正確で早かったと感じたが、停電の場合やFMくしろの電波を受信しにくい地域もあることから、こういったネットを活用した情報提供について、もっと周知してほしい。

金安：FMくしろだけでは不十分と考えており、タクシー会社か

	<p>らの情報やフェイスブックなどの情報を生かすことについて検討するよう、市へ強く要望したところである。</p>
	<p>問：北大通が寂しくなっている問題については、狩猟民族のように、そこにあるものを獲るではなく、農耕民族が将来に向け種をまくような意識で進めていくのが良いと思う。</p> <p>月田：提言として受け止めさせていただく。</p>
	<p>問：議会報告会の開催について、市のホームページでの周知が遅かった。</p> <p>松橋：実施方法については、これまでのやり方を踏まえ試行錯誤しながら決定していることもあり、周知が遅くなった。ホームページについては、開催日程が決まり次第すぐに更新するようになりたい。</p>
	<p>問：釧路港が国際バルク戦略港湾に選定されたことを受けて、雇用の創出や広域的な地場加工も見据えた、農業の6次産業化に向けて動いてほしい。</p> <p>畑中：行政が直接動くことは難しいが、民間企業が声を上げてくれれば、それを受けて協力できることはやっていく考えである。</p>
	<p>問：津波対策については、市民への説明が不十分だと思う。</p> <p>金安：先般の説明は、ハザードマップができたということの説明にすぎないと思う。町内会等で市の担当者呼び、避難方法等を勉強している地域もあるので、是非市に問い合わせをして欲しい。</p> <p>草島：津波ハザードマップが完成したことの周知を行い、自分の住んでいる地域が津波発生時にはどの程度危険なのかを理解し、速やかに非難するという自覚をしてもらう。今後、さらに救済策を進めていく。</p> <p>月田：市に講師を依頼するとすぐに対応してくれるので、少人数でも構わないので、講師の説明を聞きながら、是非いざという時のための想定をしていただければと思う。</p>

<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：政党や議員の後援会の看板が、市営住宅や学校など公共用地に掲示されているので、これらを撤去してほしい。</p> <p>月田：正副議長から、各会派へ申し伝える。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：薬局の看板が道路上に無断で設置されているので、撤去に向けて取り組んでほしい。</p> <p>月田：経済建設常任委員長から、道路管理者へ申し伝えることとしたい。</p> <hr/> <p>問：市の職員は、電話を受けても自分の名前を名乗らない。厳しく教育すべき。</p> <p>月田：総務文教常任副委員長から、総務部長へ申し伝えることとしたい。</p>